



〈人と人とのよりよい関係をつくるために〉  
 B3版 1枚  
 B2版 5枚 合計6枚  
 パネル上部に2カ所吊り金具あり  
 ※2セットあり



あなたのまわりで、  
こんなことは  
起こって  
ないかな？

ケース1



ケース2



ケース3



これらのケースについて  
考えてみよう

そのときの2人の気持ちは…  
たとえばこんなかな？

はるとの気持ち

つきあってみたから、  
何でメールしたらずく  
返答するのかわからず、  
あかねが口悪くなるから、  
わかっていた。

ケース1

あかねの気持ち  
何もそんなことでとって  
罵らなくたって…  
でも、罵られたのは自分が  
悪かったから？  
はるとの言うことをあかねが、  
また認められなくて…

ケース2

なつきの気持ち

あがだれと付き合っても、  
それは彼の自由だと思うけど…  
でも、相手のことが好きなら  
相手に合わせて、  
自分も無理な女…

あおいの気持ち

好きな人は  
私のことだけ好きじゃなく、  
他の人も好きなのよって  
絶対にいや！  
他の女の子と付き合ってるって、  
許さない！！

ケース3

あきひこの気持ち

好きな人と2人きりで  
過ごしたいなあ。  
しおりちゃんも何も  
言わないので、きっと自分と  
同じ気持ちだと思う。

しおりの気持ち

あきひこくんとは新しい気持ち  
ばかりだし、2人きりになるのは  
本当にいい気分がある。  
本当はいいんだけど、いかに聞いたら  
「別のことを好きじゃないのだから、  
聞かれてしまうかも…」  
そう思うと、こころが重くなる。

このときの2人の関係を  
考えてみよう

- ☞ どちらの気持ちが優先されているかな。
- ☞ どちらの意見・考えによって  
ものが決まっているかな。
- ☞ どちらが相手の顔色をうかがって  
ひくびくしているかな。
- ☞ 2人の関係は、対等かな、それとも、どちらが大きな「力」を持って  
相手を自分の思いどおりにしているかな、強いのはどちらかな。
- ☞ 2人の関係を「上-下」「主-従」の関係にたとえると、どちらがどっちかな。



## 自分と相手、お互いにとって大切なことは何だろう？

殴られたり、ばかにされたりする

他の人とのつきあいを制限される

自分の本当の気持ちがかくえて言えない

…2人の関係が「対等」なら、こんなことは起きるかな？

### POINT

#### ケース1

相手の意見が自分の意見と食い違ったときや、相手が自分の思いどおりに行動できなかったときに、一方が一方的に自分の考えを相手に押しつけようとするのはいけないことです。どんな事情があっても、暴力をふるってはいけません。「相手が自分の言うとおりにしないからといって、その人に暴力をふるっていい」ということにはなりません。



#### ケース2

人を好きになったら、その人のことが気になるのは自然なことでも、周りに合わせるからといって、相手の行動を監視したり制限したりするのはいけないことです。なぜなら、相手は、ひとりの「人間」として自由に考え事を考え、決めることができるからです。理解しているからといって、その自由を奪うようなことはしてはいけません。



#### ケース3

交際している相手に気に入られたいと思うのは自然なことでも、そのために、あなたが「自分の」気持ちを我慢して相手のいいなりになる必要はありません。なぜなら、あなたは、ひとりの「人間」として、自分のことは自分で決めることができるからです。あなたがいいやだと思ふとき、受け入れる必要はありません。いやなことは、はっきり「いや」と言っているのです。



## お互いが楽しくて輝いているような、すてきな関係になるには

### 暴力を認めない

どんな事情があつたとしても、暴力をふるっていいという理由にはなりません。暴力によらない解決方法があるはずで、暴力は、身体的なものに限らず、精神的なものや性的なものもあります。どのような暴力であつたとしても、暴力をふるうことは決して許されるものではないのです。

### 自分のことを大切にする

人はみんな生まれながらにして一人ひとり大切にされるべき存在です。暴力をふるわれてもいい人など一人もいません。でも、自分大切にしている気持ちを持っていないと、暴力をふるわれたとき、相手に対しては「NO」の意思表示をすることが難しくなります。あなたは、自分のことは自分で決めることができるのです。いやなことには「NO」と言うことができるのです。自分の気持ち、自分の体を大切にしている気持ちを持ちましょう。

### 相手のことも大切にする

自分のことを大切に思う気持ちと同じように、相手への思いやりも、相手を大切にすることを常に持つことも大事です。相手の話に耳を傾けましょう。自分の意見や考えを相手に押しつけず、相手が自分と異なる意見や考えを持つていたとしても、まずはそういった違いがあるということを受け入れましょう。そして、自分はどう思うのか、相手に言葉で伝えましょう。

## よいよい関係を広げていこう

「暴力を認めない」「自分のことを大切にする」「相手のことも大切にする」。この3つは、交際相手との関係においてだけでなく、自分を取り巻くすべての人との関係においてもとても大切なことです。これらのことを大切にすれば、あなたは交際相手だけでなく、周りの人と「すてきな関係」をつくっていくことができます。そして、将来のパートナーとも、よいよい関係をつくっていくことができます。

国の調査では、女性の約20人に1人が配偶者からの暴力によって命の危険を感じています。そして、女性の約8人に1人が家族からの暴力により、傷病をした。精神科に不慮をきたしたりしています。結婚した相手からこのようなひどい暴力を受けることが、現代の社会では身近に起こっているのです。

こうした暴力は、他人からは被害者がわかりにくく、他人が気づいても口出ししにくい場合があります。また、暴力が次第にエスカレートして、被害が深刻になることがあります。暴力が与える影響は大きく、被害を受けた人の心身に深刻にわたって影響を与えます。被害者です。

交際相手との間で、暴力の被害者にも被害者にもならない、お互いが対等な関係を作っていくことは、将来的には配偶者からの暴力を防ぐことにつながります。

交際相手や将来のパートナー、そして、あなたの周りの人とのような関係を築いていくのは、あなた自身が決めることができます。あなた自身が決めることができます。

### 配偶者からの暴力について

※この調査では、配偶者「A」の被害者「B」からの暴力について、平成13年度に配偶者暴力防止法（配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律）が施行されたことに基づき、配偶者からの暴力の防止、被害者からの暴力に関する相談、被害者の保護、自立支援などについて実施しています。そして、自治体別に共通性、異質性などが、配偶者からの暴力の防止と被害者の支援の状況にさまざまな影響を与えています。

※全国調査からの結果から、選択していただいた交際相手からの暴力や暴力で、どうも相手を止めたという暴力があり、その被害はなかなか治り、決して許されるものではないです。

## もし、あなたやあなたの周りの人が、交際相手との関係に悩んでいたら…

もしあなたが、交際相手から大切にされていないと感じるのなら、まずはだれかに相談してみましょう。親、先生、友だち…あなたの相談しやすい人に話してみましょう。高校生なら保健室の先生、大学生なら学生相談窓口などに相談できます。一人で問題を考え込み、悩んでいると、ますますつらく苦しくなってしまうかもしれません。だれかに相談してみることで、一人で悩むことができなかった解決方法が見つかることがよくあります。

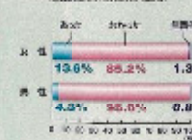
友だちが交際相手との関係に悩んでいるのではないかと感じたなら、その友だちに声をかけて話を聞いてみてください。あなたのひとことが、友だちの支えになるかもしれません。また、相談できる場所があることも、友だちに教えてあげてください。

専門の相談機関もあります。一人で悩まず相談してください。相談内容の秘密は厳守されます。（相談機関は表紙裏にあります）



### Q1 10歳代から20歳代の頃の交際相手（後の結婚相手以外）からの被害

Q1 今更に戻ると、10歳代から20歳代の頃の交際相手（後の結婚相手以外）からの被害を受けた経験がある人は何割ですか？



Q2 被害を受けた経験がある人は、どのような被害を受けたか？



調査期間：平成13年度～平成14年度